

## 卒業する今

新しい一歩を踏み出す人、  
仲間を送り出す人——。  
各部の方に、今の思いをききました。



## 大学 University

### ともに歩む

矢島 若葉 大学経済学部経済学科4年

大学における最後の年は新型コロナウイルスと共にありました。部活は対面でやりたかった。もっと友達と遊びたかった。これら全てはウィルス一つで打ち砕かれてしまった未来でした。

私は何かにつけて「コロナさえなければ」とか「コロナが収束すれば」といった言葉をならべていました。しかしこの状況のなかで諦めず、今できる全てをもって活動している人達がそばにいました。その姿を見て、頼もしいと感じると同時に「何かしなければいけない」という焦りが生まれました。

そんな焦りと不安の中でイザヤ書14章26節の「これは、全地に向けて定められた計画である。また、これは、すべての国々に伸ばされた手である」という御言葉に触れ、焦る必要はないと思うことができました。そして私も神の計画の一部として、できる全てをもって神とともに歩みたいと思うようになりました。私にとってこの一年間は「神とともに歩む」という想いを与えられた大切な年です。

### -Dominus illuminatio mea- 詩編27:1「主は私の光」

小張 敬之 大学経済学部教授

私は青山学院大学に勤めて38年、3月31日に定年を迎えます。日々の礼拝において、聖書のメッセージを聞いた環境に感謝しています。

世界は今、新型コロナウイルス感染症の歴史的災禍に見舞われ、政治、経済、文化等の様々な場面で困難な状況を引き起こしています。今まで信じてきた社会システムが崩壊し、新しいパラダイムの中で人々は暗中模索しながら生活しているのではないのでしょうか。

誰でも世界に対するイメージや宇宙や空間に対する考え、何かを信じて生きています。どのような神観、世界観を持つかはその人の考え、生き方に大きな影響を与えます。自分の人生の羅針盤を再構築する良い機会です。他人との比較により相対的に自分の価値観を決めることが多い世にあって、本校の教育理念は「私の目にはあなたは高価で尊い。私はあなたを愛している。(イザヤ書43章4節)」です。

神は各自に最高の人生を約束しています。これからの社会生活において、困難に直面することもあるかもしれませんが、John Wesleyが死ぬ間際に残した“Best of all, God is with us.”を忘れないで下さい。「主は私の光」である事を心にとめ、皆さんの人生が大いに祝福されますようお祈りいたします。

ご卒業おめでとうございます。



オンラインによるクリスマス礼拝 (左:ハンドベル・クワイア、右:聖歌隊)